

## グループールニマーの物語

グループールニマーは、古代インドのお祝いです。その起源は、四つのヴェーダがインドの精神的伝統の基盤として確立された時代にまでさかのぼります。偉大な賢者ヴェーダ・ヴィヤーサは——ヴェーダを編さんし、叙事詩、『マハーバーラタ』やプラーナと呼ばれる 36 冊の物語と教えの本を書き——グルに敬意を表すお祝いであるこのグループールニマーのお祝いのきっかけを与えた人物でもあります。

ヴェーダ・ヴィヤーサの弟子たちは、敬愛するグルから恩恵と貴重な知識を受け取ってきたことへの、感謝と崇敬に満たされていました。グルの導きに従うことによって、彼らは至高なる自己と彼ら自身の大いなる自己は一つであるという体験に至ったのです。

弟子たちは、自分たちの感謝と深い敬意を表すに足る礼の尽くし方が分からなかったので、ヴェーダ・ヴィヤーサに、「どのようにしたら、私たちは神聖な英知の源であるあなたを褒めたたえることができるでしょうか」と尋ねました。

深い慈愛をもって、ヴェーダ・ヴィヤーサは、一年のうちで一日、シュリー・グルを敬うことに特別に専心する日を選ぶことができると、弟子たちに伝えました。その選ばれた日に、弟子たちは永遠にささげ物や贈り物でグルをたたえることができるであろうと。

ヴェーダ・ヴィヤーサの弟子たちは彼の導きに従いました。彼らは、アーシャーダの月の満月（プールニマー）の日を選びました。それは、一年のうちでもっとも大きく満ち、もっとも明るいプールニマーだと考えられたからです。この日がグループールニマー——グルの満月——として知られるようになりました。

グル・プールニマーの伝統は、時代を超えて続いています。シッダ・ヨーギとして、私たちはグルへの感謝を表現するこの伝統に参加しています。私たちは、恩恵、シャクティパート・ディークシャーという極めて貴重な贈り物、計り知れない愛、慈悲、祝福、そして人生を変容させるシッダ・ヨーガの道の教えと修行を授けてくださるシッダ・ヨーガのグルたち——グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダ、バーバ・ムクターナンダ、そしてバガヴァーン・ニッティヤーナンダ——をたたえるのです。



© 2022 SYDA Foundation. 著作権所有。